

阪南 6 区におけるアマモ場造成実験の概要

○日 時 令和7年11月16日（日）10:00～13:00

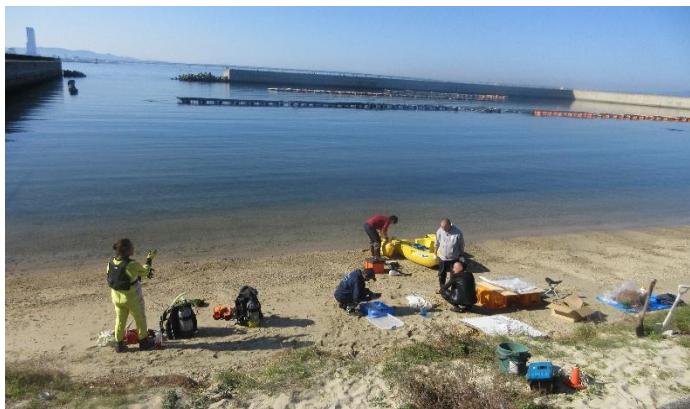
○場 所 阪南 6 区（大阪府貝塚市二色南町）

○参加者数 9名 (CIFER・コア6名、ダイバー2名、環境コンサルタント1名)

CIFER・コアでは、沿岸生態系の保全に向けた取り組みとして、今年度から阪南 6 区ポンドにてアマモ場造成実験を開始します。ポンド内ではマガキ養殖が行われていることから、漁業者のご理解を得て、11月16日に2区画に90cm 角の播種シートおよび、これを保護し安定させるための麻製土嚢を設置しました。また、実験環境を把握するため、水質検査も実施しました。

この日はポンド周辺の環境保全活動として海岸の清掃活動も同時に実施しました。護岸近くにはプラスチックゴミが層をなすように大量に堆積しており、わずか3名のスタッフの活動ながら、合計14袋分のプラスチックゴミを回収しました。

このアマモ場造成実験は、CIFER・コアの重点テーマである「海域の緑化」に直結するものです。今後も経過観察と適切な管理を継続し、貴重な海のゆりかごであるアマモ場の復活を目指してまいります。



ポンド全景 水深の深い場所にはカキ養殖筏が設置されている



麻製土嚢の作成作業



ダイバーによる播種シート・土嚢の設置作業



①水溶性不織布を敷く



②ヤシマットの上に砂を置く



清掃活動ではゴミ袋 14 個分のゴミを回収



③アマモ種子を撒く



④設置位置の計測中